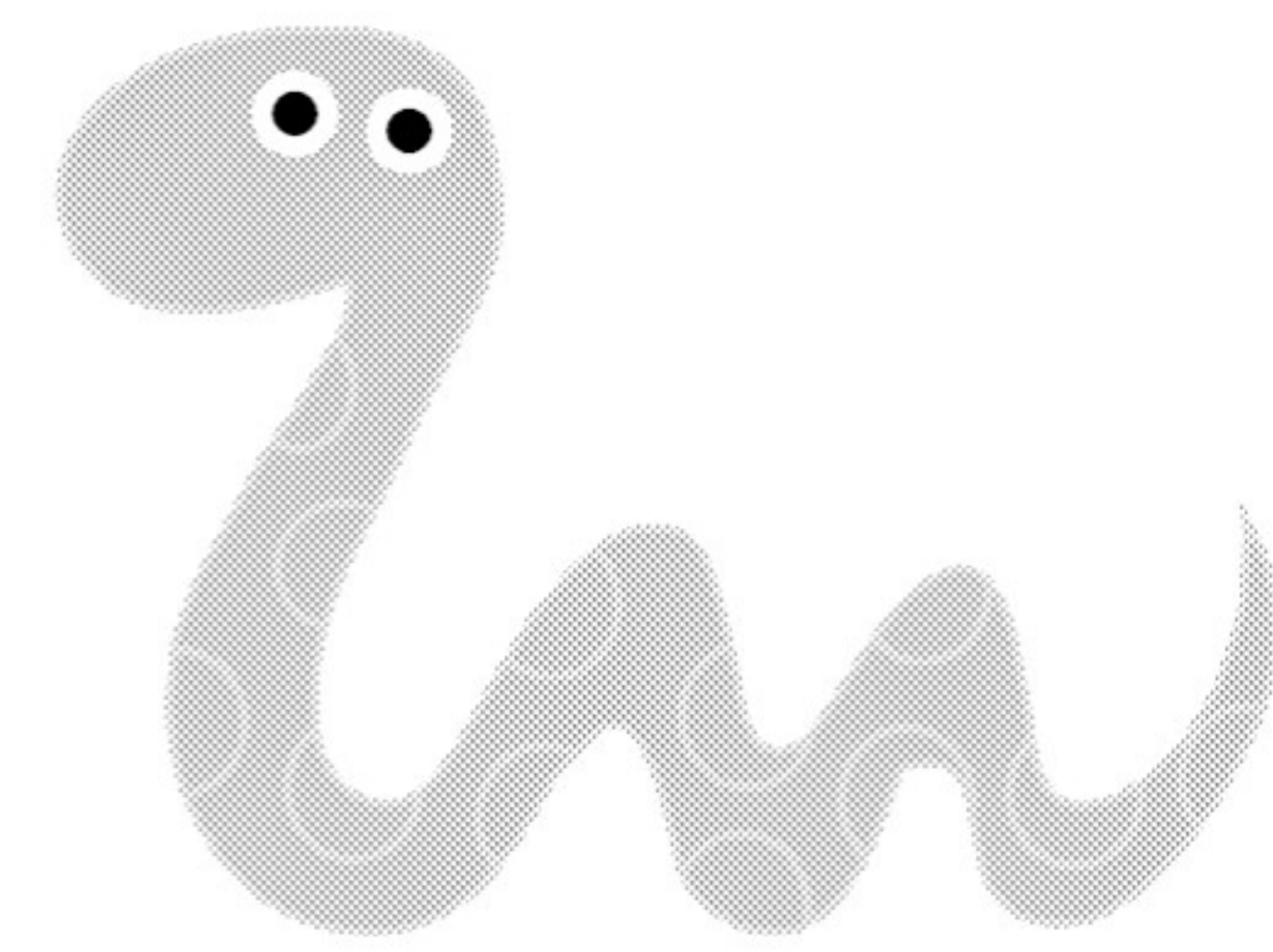
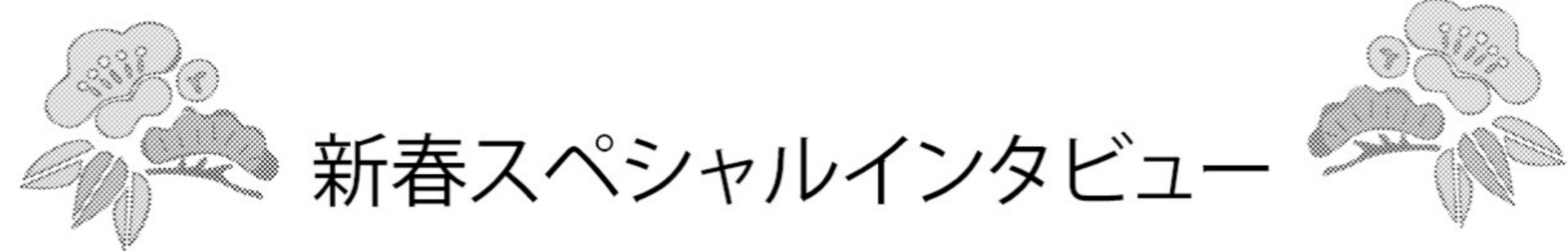


ビジネスリーダーが語る 今年の抱負と展望



神戸新聞WEBでもご覧になれます
<http://www.kobe-np.co.jp/info/12greeting/>



(順不同)

株式会社 マキシ

代表取締役社長 渡邊 百合氏

神戸市中央区北長狭通2の6の13
078-3391671



創業73年を迎える帽子製造の老舗。1967年から皇室向け帽子の制作を手がけ、その後も航空会社の制服、オリビックの日本選手団の制服を製造し「マキシ」ブランドを定

着させてきた。今年で勤続60年になる山口巖さんが昨年、厚生労働省から「現代の名工」卓越した技能者」に選ばれた。本社アトリエに誰よりも早く出勤し、手作りの技を究め続ける。その手によって送り出された帽子は10万個を数えるが「本音で帽子作りに大好き。一つ一つの帽子をいとおしむに作ってあげるんですよ」。2010年には大平千鶴さんが仏のコンクールでグランプリを受賞。このほろ作られた。「あらゆる人に帽子を楽しんでもらえるように」との思いを込め、全国百貨店の特別販売会(マキシフェア)も積極的に開いていく。



「現代の名工」に選ばれた山口巖さん

兵庫西農業協同組合 (JA兵庫西)

代表理事組合長 市村 幸太郎氏

姫路市三左衛門堀西の町2-16
079-2815021



地域とのふれあい強く

管内8カ所で展開する直売所「旬彩蔵」も好調だ。「今後も店舗を拡大し、一方で農業塾の開催を増やすなど生産者へのサポートをさらに強めていきたい」と意気込む。



人気の直売所「旬彩蔵」

社会福祉法人光朔会

オリンピア

常務理事、高齢者事業本部長 山口 宰氏

神戸市中央区生田町1の2の32
078-2617098



若い人材に気付きの場

そのモデルとなるのが福祉先進地のスウェーデン。学生時代から高齢者福祉を学んできた山口さんは、同国に留学した際、仕事や情報に対する極めてオープンな文化に魅了された。「新たな文化に触れることで、自分たちが狭い価値観や考え方の中にいて、新しいことに挑戦するという発想をなくして、ものごとに変えられると思いたい」と語る。



スウェーデンの高齢者施設

株式会社 MORESCO

代表取締役社長 赤田 民生氏

神戸市中央区港島南町5の5の3
078-3330910



好調時こそ手綱緩めず

表面潤滑剤でカバーしている中国市場の開拓に注力している。現地ニーズに合った自動車向けタイカスト離型剤を開発し、研究開発体制を構築する。自動車向けタイカスト離型剤で同業者を捉えようとしている。伸びしろのある分野「東南アジア諸国への進出」にも、「好調な時こそ次の強化に余力を注ぎたい」と電子デバイスへの備えを」と電子デバイス



本社・研究センター

創企株式会社

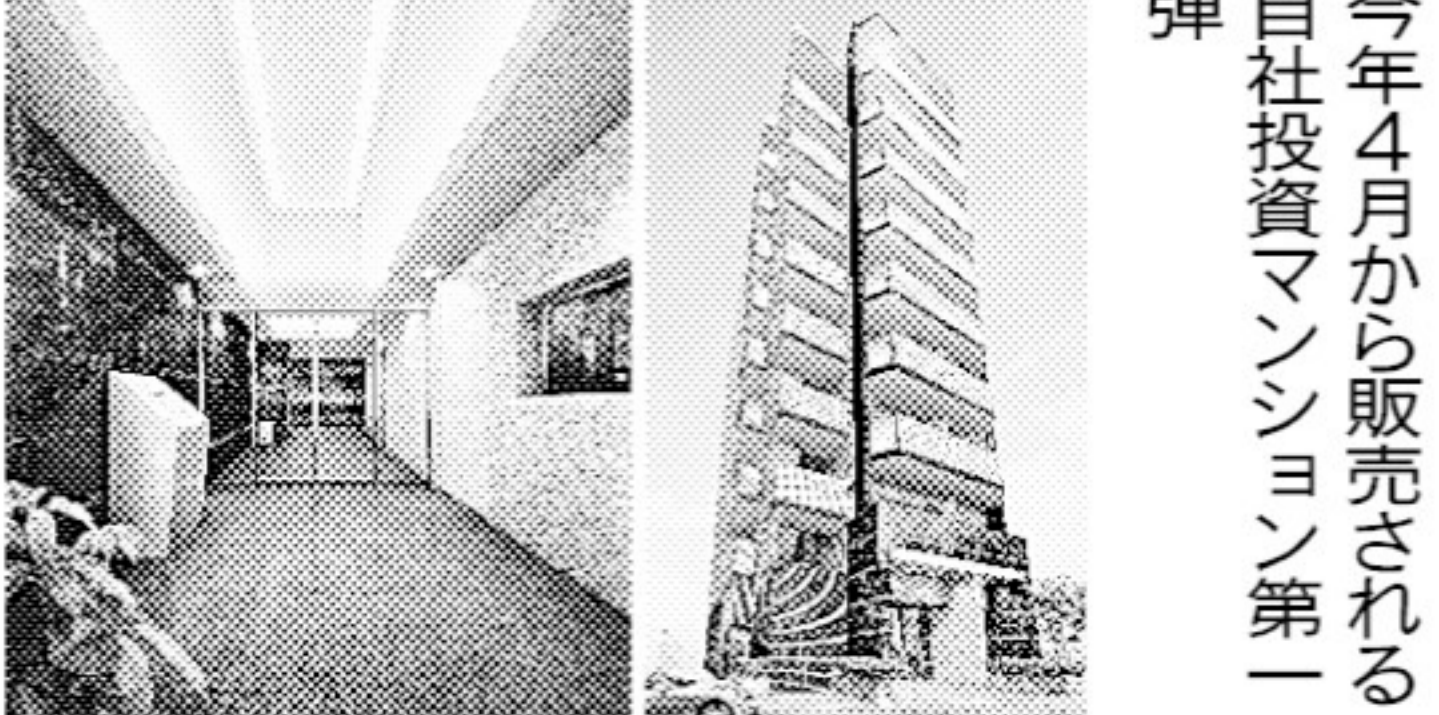
代表取締役、一級建築士 平川 雅勝氏

神戸市中央区小野柄通4の1の15
078-2610202



投資物件の自社建設へ

1985年に一級建築士事務所を開設。土地の有効利用を提案する「土地活用事業」、こだわりの住まいを創造する「住宅事業」、資産運用のパートナーとして総合コンサルティングを行う「不動産投資事業」をメインに展開してきた。近年、特に力を注ぐのが不動産投資。マンション経営を考える人向けにセミナーを、各地で開いている。投資物件は従来、新築マンション1棟につき数戸を仕入れて販売してきたが、反映することで、空室になっているのが3人の息子たち。長男は土地活用、次男は不動産投資、三男は不動産実務と各分野で力を発揮する。「1人ではできなかったことが具現化できるようになってきた」と表情を緩める。



今年4月から販売される自社投資マンション第一弾

石原薬品株式会社

代表取締役社長 竹森 莞爾氏

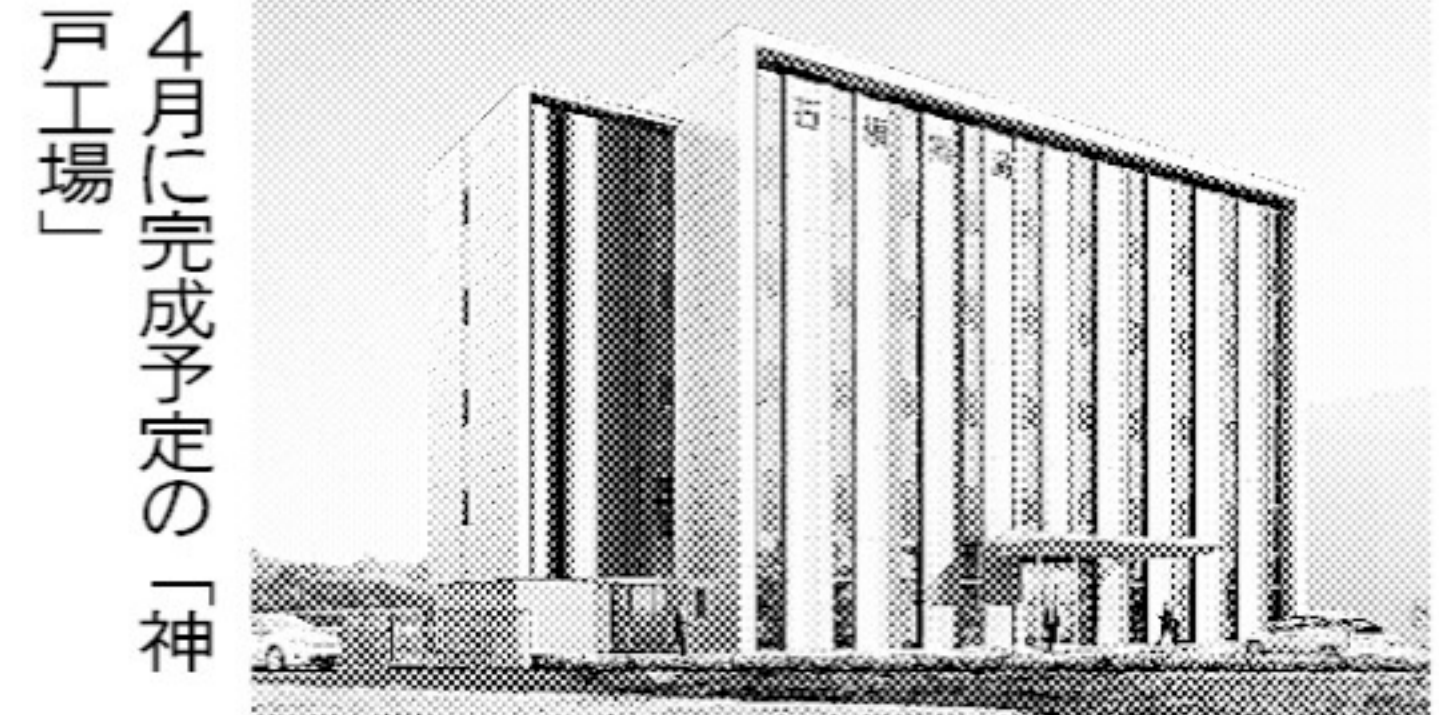
神戸市兵庫区西柳原町5の26
078-68014801

「金属表面処理剤おまひ機器等」「電子材料」「自動車用化学製品等」「工業薬品」の4事業を展開。中でも、電子部品用はんだめっき液に強みを持ち、国内シェア約70%を誇る。好業績のけん引役は、スマートフォンやタブレット端末部品向けのめっき液。「将来的な市場規模も予測



世界に通用する製品を

できないほど」とうれしい悲鳴を上げる。もちろん、地道な企業努力あつてこそ好業績。毎年製品売上高の約10%を研究開発投資につぎ込んでいる。顧客の海外進出に合わせ、2008年に上海に駐在員事務所を新設し、在員事務所を開設。日系企業に加え、現地企業、欧米からの進出企業にも販路を拡大してきた。昨年6月には、経済成長著しいASEAN地域を拠点としてタイ、銅ナノ粉の燃やす。製造と次世代の電子回路基板への適用が期待される導電性ナノインクの開発を進める。「世界に通用する『ワールドワイド』の製品を生み出したい」と意欲を燃やす。



4月に完成予定の「神戸工場」